
資料編

- 1 障がい者関係団体等のヒアリング調査報告
- 2 鳩山町障がい者福祉計画策定経過
- 3 鳩山町障がい者福祉計画策定・推進委員会設置要綱
- 4 鳩山町障がい者福祉計画策定・推進委員会委員名簿
- 5 用語の解説

1 障がい者関係団体等のヒアリング調査報告

1. 目的

本計画の策定にあたり、町内の障がい者関係団体の声を直接聞くことによりニーズを把握し、障がい者福祉計画策定・推進委員会に報告し、計画の策定に反映させるため実施する。

2. 実施方法

対面での聞き取り、または書面等の提出により 1 月中旬までに実施する。

3. ヒアリング内容

団体の活動状況(現状・課題)、障害福祉サービスや相談支援体制について

4. ヒアリング対象団体等

(1) 障がい者団体

NO	団体名	障がい区分等
1	鳩山町身体障害者福祉会	身体
2	視覚障害者の会 は一とあい	身体(視覚)
3	社団法人埼玉県聴覚障害者協会比企支会	身体(聴覚)
4	鳩山町精神障がい者家族会 むつみ会	精神

(2) 障害福祉サービス提供事業所

5	(社福) いずみ会 西山荘	障害者支援施設
6	(社福) ありす福祉会 聖神学園	障害者支援施設
7	鳩山支援センター はばたき	就労継続支援 B 型

(3) ボランティア団体

8	サロン ティールーム	精神
9	手話サークル つくし	身体(聴覚)
10	声ナビシネマ わかば	身体(視覚)

(4) 鳩山町民生委員・児童委員協議会 障がい者部会

5 ヒアリングの要旨(主な意見)

■障がい者団体・ボランティア団体

貴団体の活動状況について

活動を行う上で問題点、必要な支援

障がい者団体

【鳩山町身体障害者福祉会】

○事業やイベント等の支援をしてもらえる会員の方を増やすための支援があると良い。

【埼玉県聴覚障害者協会 比企支会 鳩山分会】

○手話通訳等の情報保障。

【視覚障害者の会 は一とあい】

○行政から会議や委員の依頼を受けることがあるが、文書等が墨字のものであり、誰かに音訳又は点字に変えてもらわないと内容がわからない。

【鳩山町精神障がい者家族会 むつみ会】

○新規入会者の減少に伴う会員の減少、高齢化。

○県連等に入会して活動できればと思うが予算を組めないため不可能。何らかの補助があると良い。

ボランティア団体

【サロン ティールーム】

- 会の特性上、オープンにできない部分もあるため、活動が限定的になる一面もあった。当事者同士のトラブルもあり、ルール等を設けて促してはいたが、難しい面もあった。
- 社協と行政が連携を図れていた部分があった。継続していくためには双方の支援が必要。
- 会場に関しても利用料が掛かる部屋の使用は難しい。当事者の経済状況的に、例え数百円でも参加費を取ることに躊躇してしまう。

【手話サークル つくし】

- 町内のろう者を含めた会員が少ない。もっと関わりが持てれば支援や繋がりやの輪が広がるが、今のところ手立てが少ない。

【声ナビシネマ わかば】

- 複数の市町で構成している広域的な団体であり、基本的には活動拠点を鶴ヶ島市役所内で行っているが、時期によっては鳩山町の町立図書館を使用する場合もある。その際に、会議室等が無料又は減免となる財政面での支援があれば大変有難く思う。また、会員には視覚障がいのある方が複数人いるため、高坂駅や北坂戸駅までの送迎等の支援があると良い。

福祉サービスや相談体制について

障がい児(者)に対する福祉サービスについて(例:改善・充実すべき点、必要なサービスなど) 情報提供や相談窓口について(例:改善・充実すべき点、必要なサービスなど)

障がい者団体

【鳩山町身体障害者福祉会】

- どのようなサービスがあり、どんな手順(申し込み)を踏めば利用できるのかが分からない。
- 自身で知り合い等を増やすことで行政からだけではない情報を収集していく必要がある。

【埼玉県聴覚障害者協会 比企支会 鳩山分会】

- 聴覚障がい者の範囲で言えば、現状で特に問題はない。
- 音声によるものだけでなく、手話、筆談、SNS等を利用した手法を導入すべき。

【視覚障害者の会 は一とあい】

- 現状の内容で生活は送れると思う。
- 配布物等を点字化したものを設置してほしい。

【鳩山町精神障がい者家族会 むつみ会】

- 町の提案型補助制度は利用しにくい。
- 埼玉県の重度心身障害者医療費助成制度並びに在宅手当の対象者拡充。
- 手続きが多い。自立支援(精神通院)医療費の更新は1年ではなく、3~5年に改正してほしい。
- 災害時の持ち物や行動の指針を示してほしい。
- 今後も行政が定例会に参加して住民の意見の吸い上げ、制度の説明をしてほしい。
- 時間の掛かる相談は気が引ける。オープンな窓口で相談しにくい内容もあるので、相談室のような空間を設けてもらえると助かる。

ボランティア団体

【サロン ティールーム】

- デマンドタクシー以外の移動手段の確保。乗合による対人面の緊張や利用料金等を考慮した支援があると良い。
- オープンにできない面や、ただ単に紹介されただけでは足が向く方はいない。行政等の付き添いで見学などに繋いでもらえると安心するのではないかな。

【手話サークル つくし】

- 全般体に情報不足。特に他の障がいに対する支援を行っている団体等の情報が少ない。同じような活動をしている団体等と連携が図れたら活動の幅も広がると思うが、そういった情報が無い。
- ボランティアセンターが遠い。ふくしプラザに相談できるコーディネーターを配置してほしい。

【声ナビシネマ わかば】

- 視覚障がい者に対して周知するための良いアイデアがあれば実践していきたい。

障がい者福祉計画について**鳩山町において、今後、特に力を入れて取り組むべきと思われる障がい者施策について****障がい者団体****【鳩山町身体障害者福祉会】**

- 障がい者への理解が普及していない気がする。特に精神障がいに関する理解が遅れている。

【埼玉県聴覚障害者協会 比企支会 鳩山分会】

- 聴覚障がい者の範囲では、手話通訳者の養成に取り組むべき。町単独ではなかなか困難なので、比企郡内の他市町村と合同で取り組む方法を検討すべき。
- 今年台風災害が多く、幸いにも町内で甚大な被害は無かったようだが、今後は更に大型のものが上陸する可能性がある。その時に避難所に避難してきた聴覚障がい者に対する情報保障の対応策をお願いしたい。また、防災無線だけでなく、SNS等を活用した避難情報等の伝達を検討していただきたい。

【視覚障害者の会 は一とあい】

- 視覚障がい者の方への情報発信の対応として、点字サークルの育成をしてほしい。
- 災害時に避難警報が出るまでが遅い。台風の時など、警報を聞いてからでは外は大荒れで避難できる状態ではない。一人暮らしの方の避難時の対応を検討してもらいたい。

【鳩山町精神障がい者家族会 むつみ会】

- 町の事業の見直し。イベントで大量に使われているチラシなどの無駄な部分を福祉に向けて欲しい。
- 障がい者や高齢者が社会から隔離されることがなく、皆が共に支えあって生きていく「ごちゃまぜ」のコミュニティづくりを目指してほしい。
- 町内にグループホームの建設。はばたき（就労継続支援B型作業所）の利用者が増えて事業拡大をしてほしい。

ボランティア団体**【サロン ティールーム】**

- 曜日を限定しない、気軽に話せて過ごせる常設型の居場所づくりが必要。
- 精神障がいといっても個人で症状は違うので、その状況にあった支援を行政も含めて地域で検討していくことが必要。

【手話サークル つくし】

- 埼玉県では手話言語条例を定めたが、鳩山町として定めているのか不明。既に定めているのなら広く周知する必要があるし、定めていないのであれば当事者の要求も必要になってくるが、早急に検討が必要だと思う。
- 社協のふれあい広場のように、町のイベントや自治会などの地域の会議でも手話通訳者をつけてほしい。
- 町で聴覚障がい者が何人いるのか把握しているはずなので、現状把握や必要な支援をしてほしい。

【声ナビシネマ わかば】

○デマンド交通や循環バス等を中心に充実させ、移動手段の確保に努める。また、高齢化対策についても重要な問題なので重点的に取り組んでほしい。

障がい児・発達障がい・保育・教育に関して思うこと、苦労した体験、行政への提言

障がい者団体

【鳩山町身体障害者福祉会】

○実際に自分が当事者となって初めて障がいというものを理解したので、小さい頃からの学びや体験、交流は必要だと思う。

【視覚障害者の会 は一とあい】

○生徒に視覚障害のある子がいた場合、学校側として黒板の字を大きく書いたり読み上げるなどの配慮が必要。

【鳩山町精神障がい者家族会 むつみ会】

○精神疾患のある方は、10代の頃から何かしらの傾向があると言われる中、知識がないまま発症した家族の混乱や苦悩を考えると、精神保健・精神疾患の教育を高校からではなく、もっと早い段階で取り入れてほしい。

ボランティア団体

【サロン ティールーム】

○いじめ問題にも繋がることなので、障がいに関する教育を早い時期から取り組み、理解や啓発をしていくことが必要。

【声ナビシネマ わかば】

○社協のボランティア体験として中学生以上の子たちに活動の体験をしてもらっているが、小学校に出向いて講座や一緒に給食を食べる等の視覚障がい者を身近に感じられるようなふれあい事業が実施できれば良い。

ご本人とご家族の、ボランティアや地域との関わり、地域の行事への参加などについて

障がい者団体

【鳩山町身体障害者福祉会】

○家族のサポートは重要。生活が変わる。

【鳩山町精神障がい者家族会 むつみ会】

○ボランティアとしての取り組みや考え方について教育してほしい。専門的立場とは違うのに、勘違いをしている方がいる。

ボランティア団体

【サロン ティールーム】

○グループを運営していくにあたり、地域のボランティアの力が必要。

○ボランティアの方の畑を借りて野菜の栽培を行っていた。理解ある方の協力により実施していたが、収穫しても調理するための部屋の使用料が払えずに苦労した。

【声ナビシネマ わかば】

○団体の会員を増やすために、当事者へのアプローチしていくための良い手法や、連絡先等の情報提供の支援があると良い。

相談・情報窓口、保健・健康など、日常生活上で自立した生活を送るために必要と思うこと

障がい者団体

【鳩山町身体障害者福祉会】

○ふくしプラザのように住民同士が集えるような場所が多くあると良い。

【埼玉県聴覚障害者協会 比企支会 鳩山分会】

○聴覚障がい者の範囲では音声情報ではなく、視覚で取り入れる文字情報が必要である。

【鳩山町精神障がい者家族会 むつみ会】

○総合相談支援窓口には身近な問題と捉え、気軽に相談できる場になってほしい。

ボランティア団体

【サロン ティールーム】

- 好きなことはできるけど、生活面全般的に支援は必要。自立していくための訓練等の支援があると良い。
- 障がいに対して家族が受け入れられずに居場所がない方もいる。お互いの理解を深めるための支援があると良い。

「働くことについて」、「働ける条件」など、働きたい障がい者がどうしたら働けるか

障がい者団体

【鳩山町身体障害者福祉会】

- 障がいや企業の状況により格差が激しい。辛いことを相談できる環境や相手が重要になってくる。

【埼玉県聴覚障害者協会 比企支会 鳩山分会】

- 本人の要望に基く合理的配慮が必要である。

【鳩山町精神障がい者家族会 むつみ会】

- 強みを見出せる支援者がいて、適正な助言や支援をしてもらえると良い。
- 障がい者雇用の求人は身体や知的を対象としている企業も少なくない。精神も受け入れている求人限定して提示や公表してほしい。

ボランティア団体

【サロン ティールーム】

- 家族の自助努力も必要だが、会社というより職場の人たちの理解も重要。会の事業を通して就職した方もいる。社会性を学んでから就職活動に繋げるなど、ステップアップして活動していくことが重要。

街中や家の中で、障がい者が不便と感ずること、改善されたと思うこと

障がい者団体

【鳩山町身体障害者福祉会】

- 以前に比べ、道路の整備は整ってきているように感じる。電車もホームドアの普及してきており、安全な社会に向かっている。

【埼玉県聴覚障害者協会 比企支会 鳩山分会】

- 聴覚障がい者の範囲では、依然として音声情報が多く、視覚情報が少ないことが不便。例えば、東武東上線で人身事故により電車が止まった際、車内では車掌による音声案内のみで視覚による情報提供がない。

【視覚障害者の会 は一とあい】

- ニュータウンの郵便局からコンビニに向かう間の歩道が荒れている。街路樹も歩行するには障害物となる。
- 電気ポットに水を入れるにも苦勞する。些細なことでも生活を送る大変さを分かってほしい。

ボランティア団体

【サロン ティールーム】

- 循環バスの経路が変更して利用しやすくなった。
- 単独で行動できない方も少なくないので、ちょっとした買い物等にも付き添ってくれる方がいると助かる。
- 人が多く乗降する場所には屋根があって少し休めるようなスペースも必要。子どもが休めたり、住民の憩いの場としても活用できるのではないかな。

【手話サークル つくし】

- 町の防災無線が聞こえにくい。メールで情報配信をしているが、高齢になった聴覚障がい者には登録が難しい。特に今回の災害で聴覚障がい者に対する情報伝達の課題が浮き彫りになったと思うので、聴覚以外での情報発信が必要。

- 役場や保健センター前の道路に信号機を設置してほしい。特に音声案内付きの信号は町内に無い気がする。
- 高齢になった時の外出支援について充実させてほしい。
- 【声ナビシネマ わかば】**
- 一部で防災無線が聞こえない、聞き取りにくい地域がある。特に避難情報等が聞こえなかった場合、視覚障がい者等への情報提供の対応をしてほしい。

その他意見について

- 【サロン ティールームより】**
- 周囲の応援があれば活動できる人は多い。隙間時間を活用して自分のためではない活動に取り組める人の確保や、そこに向けたための施策が必要。地域貢献になる活動へ取り組める人材育成。
- 今ある資源を有効に活用してほしい。眠っている公共施設は多い。
- 障がい者施設等が運営する喫茶店があれば良い。

■障害福祉サービス提供事業所

障がい者の地域移行に向けて、貴事業所として、障がい者が地域で生活していくためには何が必要とお考えですか。また、事業所として取り組んでいること(今後取り組もうとしていること)がありましたら、ご記入ください。

- 【聖神学園】**
- 新規相談や医療的ケアが必要な障がい者も含め、地域移行が可能な障がいのある方々の生活状況の把握をきめ細かく行い、利用者に寄り添い、必要な支援を提供する体制の充実、強化が必要。
- 相談支援体制の拡充
 - ・総合相談窓口の充実、強化
相談先が分かりにくく、障がい以外の分野との連携が十分に機能していない現状を総合相談窓口により適切に支援するための充実、強化を図る。また、福祉サービスの申請時において、医療的ケアを含む相談者の状況を担当課の専門職である有資格者で把握し、適切な支援ができるよう相談体制を構築する。
 - ・関係機関の連携強化
障がい支援担当課、支援センター、相談事業所等で地域包括ケアの協議会を設置し、インテーク会議（初期相談対応）や経過観察会議を開催、精神障がいにも対応できるよう保健担当課との連携も必要。
セルフプランの生活保護受給者や他者との接触を拒否する精神障がい者等への生活状況の把握や緊急対応等の連携や調整。
- 生活拠点の整備
地域で安心、安全な生活が送れるようグループホームやサテライト型の居住の拡充。
- 当法人で取り組んでいること
 - ・グループホームの整備、拡充
 - ・グループホーム移行に向けて利用者のQOLの向上。
- 【西山荘】**
- 地域生活できる住まいの場。
 - ・生活を継続していくための福祉資源や就労できる場所の確保。
- 法人としてはグループホームの整備を検討中
- 【鳩山支援センターはばたき】**
- 通所と余暇活動のバランスや充実。余暇活動の練習として社会性や生活性のスキル向上に向けた取り組みも行っている。

- 情報収集力を身につける訓練が必要。特に今回の台風災害の時に、どこに避難すれば良いのか、避難時に必要な持ち物は何か、行政が明確に示すことと併せて、自身でも必要な情報を収集できるようにしなければならない。
- 地域移行を目指している方のケース会議に積極的に参加して、生活していく上での必要な知識等の理解を深めるための支援に取り組んでいる。

※就労継続支援B型事業とは、通常の事業所に雇用されることが困難であり、雇用契約に基づく就労が困難である者に対して、就労の機会の提供及び生産活動の機会の提供その他の就労に必要な知識及び能力の向上のために必要な訓練その他の必要な支援を行う。
(厚生労働省作成資料より)

障がい者の就労支援のために行政が行うべきことは何か、ご意見があれば箇条書きでお書きください。また、事業所として取り組んでいること(今後取り組もうとしていること)がありましたら、ご記入ください。

【聖神学園】

- 就労支援事業所の拡充、障がい者雇用に向けて一般企業への働き掛け及び支援活動の強化。
- 当法人としては日常生活の中で働く喜びを感じ、豊かに生活が送れるよう作業支援を行う。工賃は外出等に必要な資金として活用してもらうなど、生活の質の向上を図る。

【鳩山支援センターはばたき】

- 余暇活動に関する社会的なルールや手続き等についても行政と連携して取り組んでいきたい。
- 町外から通所されている方も多くいるため、デマンドタクシーが町外の方でも利用できるようになると良い。また、町外便として埼玉医大だけでなく、毛呂山町にある駅や役場にも停めてもらえると利用しやすくなる。

障がい者差別をなくしていくために、行政が取り組むべきことについてお伺いします。

【聖神学園】

- 住民に対して障がいの理解を深める取り組みの充実、住民と障がい児・者との交流の場の拡充。

【西山荘】

- 地域住民に対し、障がい者差別に関する周知、地域住民と障がい者が気軽に関われる機会の提供。

【鳩山支援センターはばたき】

- 地域移行にも関わることなので合理的配慮について地域で話し合う機会や本人、住民等に対する意識付けとなる支援が必要。

貴事業所の運営上で課題となっていることがありますか。

【聖神学園】

- 2期計画で行っている老朽化した施設(居住棟50床)の建て替え工事。1期工事(居住棟30床)は令和2年度で完了。2期工事(居住棟20床)の施行準備。

【西山荘】

- 働き手が少なく、人手不足である。
- 利用者の高齢化。
- 近隣でのグループホームの整備。

【鳩山支援センターはばたき】

- 利用者の減少、現状の人数で作業スペースが手狭になってきている。配置を工夫しているが、今以上に人数が増えた時の対策が必要。また、送迎車両も車両定員の関係で一部の地域で送迎の受入れが困難。コストや職員体制を含めてギリギリのラインである。

- 受注品の単価が低い。適正な運営や通所者の不利益にならないよう、行政が適正な単価に係るガイドラインを設ける必要がある。
- 8050 問題について、就労支援が途切れた方へ、その後の生活や支援体制について。

令和3年度から3年間について、貴事業所として新規の事業展開を検討していますか。具体的にお考えがあれば記入ください。

【聖神学園】

- 改築工事の施行準備。
- 平成27年度から町と「災害時における二次避難所（福祉避難所）に関する協定」を結んでいる。近隣地域の自治体含む鳩山町と協議して、1期工事完了後、被災状況に応じて多くの障がいのある方、家族、近隣住民等と一緒に避難できる避難場所を提供する。

【西山荘】

- 未定

【鳩山支援センターはばたき】

- 現状の取組みを充実させていく方針であり、特に新規事業等の検討はしていない。

その他意見について

【鳩山支援センターはばたきより】

- 授産品の販売機会を増やしてほしい。例えば障がい者週間を活用して、その期間は役場の庁舎一部にて各障がい者施設等の授産品を日替わりで販売や、JAXAの一般公開日等に販売許可をいただくなど。

■鳩山町民生委員・児童委員協議会 障がい者部会

民生委員・児童委員としての活動を行う上で困っていること、課題などがありますか。

- 新型コロナウイルス感染症の影響でレク活動のイベントが開催できずに困っている。
- 緊急ではないが、障がいを持つ子の保護者の高齢化に伴い、この先、世話ができるか不安を抱いている方がいる。

日ごろの生活の中で鳩山町にはどのような障がい者福祉に関する課題があると思いますか。

- 障がい者のスポーツやレクリエーション活動の場が少ない。
- 坂道が多いところなどで車いすに乗る場合（自動・手動）又は、目の不自由な方はどのようにしたら良いか。

これらの課題解決のために、どのような解決方法があると思いますか。

- 町で主催する障がい者スポーツ又はレクリエーション大会を年1回開催する。
- 介護サービスのように、障がい者の方を対象とした通所や訪問等による入浴のサービスを受けられる制度があるのか。
- 坂道を平らに出来ないし、平らな土地に引っ越すことも簡単ではないと思うので、解決は難しい。

2 鳩山町障がい者福祉計画策定経過

年月日	会議・内容等
令和元年8月7日	令和元年度 第1回鳩山町障がい者福祉計画策定・推進委員会 <ul style="list-style-type: none"> 鳩山町総合相談支援窓口の開設について 鳩山町総合相談支援体制の推進及び鳩山町障がい者福祉計画策定のためのアンケート調査について 鳩山町総合相談支援体制の推進及び鳩山町障がい者福祉計画策定のための障がい者関係団体等のヒアリング調査(案)について 町長から鳩山町障がい者福祉計画策定について委員長に諮問
11月28日～12月13日	アンケート調査実施
12月12日～ 令和2年1月23日	障がい者関係団体等のヒアリング調査実施
2月26日	令和元年度 第2回鳩山町障がい者福祉計画策定・推進委員会 <ul style="list-style-type: none"> 委員長の選出について アンケートの調査の結果について 障がい者関係団体等のヒアリング調査結果について 鳩山町障がい者計画策定委員会会議予定について
6月17日	令和2年度 第1回鳩山町障がい者福祉計画策定・推進委員会 <ul style="list-style-type: none"> 鳩山町総合相談支援体制の推進及び鳩山町障がい者福祉計画策定のためのアンケート調査結果報告について 第5期鳩山町障がい者福祉計画の進捗状況について 計画の基本理念(案)について 計画の重点課題(案)について
8月4日	令和2年度 第2回鳩山町障がい者福祉計画策定・推進委員会 <ul style="list-style-type: none"> 障がい者の現状と計画の進捗状況について 計画の基本理念並びに基本目標について 施策の基本的な方向性について
9月23日	令和2年度 第3回鳩山町障がい者福祉計画策定・推進委員会 <ul style="list-style-type: none"> 第1章から第3章の修正点について 施策の基本的な方向性と主要施策について
10月27日	令和2年度 第4回鳩山町障がい者福祉計画策定・推進委員会 <ul style="list-style-type: none"> 鳩山町障がい者福祉計画 2021-2023 について
12月17日～1月18日	パブリックコメントの募集
1月28日	令和2年度 第5回鳩山町障がい者福祉計画策定・推進委員会 <ul style="list-style-type: none"> パブリックコメントの結果報告及び回答について 第6期鳩山町障がい者福祉計画 答申(案)について <p>※新型コロナウイルス感染拡大の影響により、令和3年1月7日に埼玉県を含む1都3県に対し、緊急事態宣言が発出されたことに伴い、書面会議への変更</p>
3月4日	委員長より町長へ計画書(案)の答申

3 鳩山町障がい者福祉計画策定・推進委員会設置要綱

(平成 19 年 8 月 30 日告示第 77 号)

(設置)

第 1 条 鳩山町障がい者福祉計画（以下「計画」という。）を策定し、策定後の計画の効果的な推進を図るため、鳩山町障がい者福祉計画策定・推進委員会（以下「委員会」という。）を設置する。

(所掌事務)

第 2 条 委員会は、次の事項を所掌する。

- (1) 計画の策定及び見直しを行うこと。
- (2) 計画の推進に関し、意見を述べ、及び助言を行うこと。
- (3) その他、計画の策定・推進に関し町長が必要と認める事項

(組織)

第 3 条 委員会は、委員 15 人以内で構成し、次に掲げる者のうちから町長が委嘱する。

- (1) 障害者団体関係者
- (2) 社会福祉団体関係者
- (3) 学識経験者
- (4) 公募委員
- (5) 関係行政機関の職員

(任期)

第 4 条 委員の任期は、3 年とし、再任を妨げない。ただし、委員が欠けた場合における補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(委員長及び副委員長)

第 5 条 委員会に委員長及び副委員長を置き、委員の互選によりこれを定める。

- 2 委員長は、会務を総理し、委員会を代表する。
- 3 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故あるときは、その職務を代理する。

(会議)

第 6 条 委員会の会議は、委員長が招集し、議長となる。

- 2 委員長は、必要があると認めるときは、関係者の出席を求めて説明又は意見を聴くことができる。

(庶務)

第 7 条 委員会の庶務は、長寿福祉課において処理する。

(その他)

第 8 条 この要綱の施行に関し必要な事項は、町長が別に定める。

附 則

- 1 この告示は、平成 19 年 11 月 1 日から施行する。
- 2 鳩山町障害者計画等策定委員会設置要綱（平成 15 年告示第 33 号）は、廃止する。
- 3 この要綱の施行後、最初に委嘱又は任命された委員の任期については、第 4 条の規定にかかわらず、平成 21 年 3 月 31 日までとする。

附 則

この告示は、平成 21 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この告示は、平成 30 年 4 月 1 日から施行する。

4 鳩山町障がい者福祉計画策定・推進委員会委員名簿

(敬称略)

要綱区分	選出区分	No.	所属の団体名等	氏名
1号委員 (4名)	障害者団体 関係者	1	鳩山町身体障害者福祉会	伊深 光江
		2	鳩山町精神障がい者家族会 むつみ会	伊藤美枝子
		3	埼玉県聴覚障害者協会比企支会 鳩山町責任者	灘野 邦敏
		4	鳩山町視覚障害者の会は一とあい	山口 晴代
2号委員 (6名)	社会福祉団体 関係者	5	鳩山町社会福祉協議会	佐藤誠一郎
		6	鳩山町民生委員・児童委員協議会	○片山 徹夫
		7	鳩山町ボランティア連絡会	鷺見 文子
		8	社会福祉法人いずみ会 西山荘	杉浦 正悟
		9	社会福祉法人ありす福祉会 聖神学園	◎四方 準一
		10	鳩山支援センターはばたき	鈴木 伸
3号委員 (2名)	学識経験者	11	鳩山町商工会副会長	中山 和行
		12	鳩山町教育委員会委員	橋詰 玲子
4号委員 (1名)	公募委員	13	公募委員	小池 重雄

◎：委員長
○：副委員長

※任期：平成30年6月1日から令和3年5月31日